

**令和6年度 第2回昭島市環境審議会
会議録（要旨）**

【開催日時】 令和7年3月28日（金） 18：00～19：30

【開催場所】 昭島市役所1階市民ホール（オンライン併用）

【出席者】

1 委 員

会 場：平田委員、山本委員、椎名委員、亀卦川委員、宮地委員

オンライン：坪内委員、有江委員

欠 席：荒井委員、臼井委員、長瀬委員、斉藤委員、松川委員

2 事務局：岡本環境部長、井上環境課長、秋元係長（計画推進係）、秋山係長（環境保全係）、川崎係長（水と緑の係）、長谷川係長（カーボンニュートラル担当）、渡辺主事（計画推進係）、丹沢主事（計画推進係）

3 傍聴者：1名

【議事要旨】

1 開会

2 議題

昭島市の水施策について【資料1】

3 報告事項

（1）令和6年度昭島環境未来会議の結果について【資料2】

（2）第14回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について【資料3】

（3）令和6年度カーボンニュートラルの実現に向けた主な取組について【資料4】

（4）令和6年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実績【資料5】

（5）令和6年度苦情件数について【資料6】

（6）令和6年度市内クリーン運動実績【資料7】

（7）令和6年度犬のしつけ方教室実績【資料8】

（8）令和6年度花の応援事業（花苗配布）実績【資料9】

（9）令和6年度ウッドチップ配布事業実績【資料10】

（10）奥多摩・昭島市民の森事業（20周年記念式典）について【資料11】

（11）岩泉町・昭島市交流事業（友情の森開設10周年記念式典）について【資料12】

（12）令和7年度主な環境課の事業一覧（予定）【資料13】

4 その他

5 閉会

【配布資料】

資料1 昭島市の水施策について（令和5年度実績）

資料2 令和6年度昭島環境未来会議開催報告

資料3 第14回あきしま環境緑花フェスティバルについて

- 資料4 令和6年度 カーボンニュートラルの実現に向けた主な取組について
- 資料5 令和6年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実施報告書
- 資料6 令和6年度苦情件数（令和6年1月末現在）
- 資料7 令和6年度 市内クリーン運動実施報告
- 資料8 令和6年度 犬のしつけ方教室実施報告
- 資料9 令和6年度花の応援事業（花苗配布）について
- 資料10 令和6年度ウッドチップ配布事業について
- 資料11 奥多摩・昭島市民の森事業（20周年記念式典）開催報告
- 資料12 岩泉町・昭島市交流事業（友情の森開設10周年記念式典）開催報告
- 資料13 令和7年度 主な環境課の事業一覧（予定）

[発言要旨]

1 開会

2 議題

昭島市の水施策について

昭島市の水施策の令和5年度実績について、事務局からの説明が行われた。

（資料1、秋元係長による説明）

坪内委員： コロナ禍も明けて昭島市の方で色々な活動を進められているようだが、私自身も（知っていたら）参加したかったものもある。周知の仕方として、広報あきしまの方には情報を出しているだろうが、例えばそれぞれの駅にポスターを掲示して大々的に様々な取り組みに対する募集をするなどした方が昭島市民以外の方にも「また来てみよう」と思わせる誘因になるのではないか。

井上課長： 駅のポスターについては確かに有効な手段だと考えるので、有料で広告を出しているエリアも含めて活用することを検討したい。また、現状は広報あきしま・公式X・公式LINEにて周知活動を行っているが、他に何か良い案があれば今後ともご提案いただきたい。

宮地委員： 水質調査等の件で、含有物の調査でおそらく問題はなかったということではあると思うが、判断基準や昨年との比較でどういった状況なのかということとを掲載いただくと、改善しているのか悪化しているのかが理解できるので、今後の資料作成の上で検討いただきたい。

秋山係長： 毎年環境課で作成している「昭島市の環境」に詳細を掲載しており、昭島市の公式ホームページにて公開している。

3 報告事項

（1）令和6年度昭島環境未来会議開催から（12）令和7年度主な環境課の事業一覧（予定）まで、事務局からの説明が行われた。

（資料2～3及び資料12～13は秋元係長による説明）

（資料4は長谷川係長による説明）

（資料5～8は秋山係長による説明）

（資料9～11は川崎係長による説明）

- 坪内委員： 環境被害について、8月から10月くらいにかけて実際にどういった動物・昆虫による被害の実態があったか、またその対処方法について伺いたい。
- 秋山係長： 動物・害虫による被害については、ネズミ・ムクドリについての苦情が目立った。ネズミに関しては市内で畜産業を営んでいる方がおり、そこが原因というわけではないが、その周辺でネズミ発生の苦情が寄せられているため、駆除や防除のお願いをしたところである。またムクドリに関しては以前より大量のムクドリが滞留し、鳴き声や糞害の苦情をいただいているので、令和6年8月及び11月に忌避音を用いて追い払いを実施した。
- 坪内委員： ネズミの害に関して、関連する感染症の被害報告などは特になかったと思うが、こうした人獣共通感染症について保健所との連携はとられているか。
- 秋山係長： 現状、保健所との連携はとっていないが、ネズミの害が多く報告されている場所については令和7年度に予算を計上し、市の方で駆除を実施する考えである。その際に、捕獲したネズミが病原菌を持っているかどうかなどの調査やその対処につき必要性がある場合は、保健所や国の機関とも調整をしていきたい。
- 山本委員： いくつか質問したい。まず環境未来会議について、大変素敵な取り組みだと思う。時代によって対応の仕方も変わってくる中、環境課には重要な情報の発信に努めていただき、若い人たちと一緒に考える機会をたくさん作っていただきたい。次に昭和公園の立体駐車場の電気自動車用充電スタンドについて、これは電気自動車であればどの電気自動車も充電させていただけるということか。それから味の素AGF株式会社との協定締結について、相互に連携する連携の内容というのは具体的にどのようなになっているかお聞きしたい。
- 長谷川係長： 2点目の昭和公園の電気自動車用充電スタンドについて、これは余程珍しい外国製の自動車でない限りはどんな電気自動車でも使用可能である。ただし、充電サービス提供者である東京ガスのアプリをダウンロードしてもらう必要がある。
- 秋元係長： 順番が前後してしまったが、1点目の環境未来会議について、何年か継続して実施しており、市内の高校生など若い世代に参加していただき、普段なかなか聞けない意見や発言が毎年大変参考になる機会ということで、継続していこうと考えている。3点目の味の素AGF株式会社との協定締結についてだが、先方が昭島市の水を大変気に入っていただき、味の素AGF株式会社の方から協定を結んで、何かできないかというところでお話をいただいた。現在はプラスチック1運動で、市内5ヶ所目の給水スポットが市役所にできたところだが、そうした場所で利用できる水に溶けやすい粉末状の商品を試供品としていただいております、マイボトルを窓口に持ってきてきた方にお渡ししている。また、将来的にどういった取り組みができるのというところは、何回も先方とお話をしながら進めているところではあるが、現段階では未定となっている。4月に市の方で行う環境緑化フェスティバルの方に来店をお願いしていたが日程の調整がつかず、今回は御出展いただけなかったが、市内のいろいろなイベントでそういったところの協定を通して、御協力いただければという話をしている。

- 山本委員： もう1点、喫煙マナーアップキャンペーンについてだが、自治会によって捨てられているタバコの吸い殻の量がまちまちなのが現状である。よって、クリーンアップキャンペーンをタバコの吸い殻のポイ捨ての多い地域で実施できれば、より効果的なのではないかと考える。
- 秋山係長： マナーアップキャンペーンなので、なるべく人がたくさん通っているところで現状実施しており、実際に寄せられる苦情も駅で喫煙をしている方がいた等、駅での情報に基づいて苦情が寄せられることが非常に多く、ポイ捨てよりは副流煙を気にされる方が多いのが実情である。よって、マナーを守って吸ってくださいというキャンペーンを駅にいる方を対象として実施しているが、ただ今貴重な御意見もいただいたので、今後は例えばたくさんタバコの吸い殻の落ちている場所で啓発物品を配って、たくさん貰ってくれそうな人がいる場所があればできるかとも思うので、今後検討させていただきたい。
- 平田委員： 3点ほどお伺いしたいことがある。未来会議について2点、ムクドリについて1点お聞きしたい。まず1点目、今年の未来会議はディスカッションといった形で対話が中心だったと思うが、去年のダンボールコンポストのような手を動かすイベントになると、もっと身近になるものになるのではと思う。それから来年の未来会議はどういったことをするのがもし現段階で決まっていれば教えていただきたい。
- 秋元係長： 今年度の未来会議について、今回は生物多様性ということで、専門の講師の方に映像を見ながらいろいろな生物についてのお話をいただいた後、グループディスカッションとして講義の中で教わったことや、普段の生活等で聞きしたものと感じたものに対しての率直な御意見をいただき、最後に講師から講評をいただくという流れで行った。こうした形にしたのは時間の問題もあり、本来は屋外でいろいろな生物に触れたり見学しながら説明していただければとも思うが、そうすると半日では終わらず、1日かかってしまったりすると、打ち合わせの段階でまず参加されている学校の方がそこまで対応できるかという問題もあるため、難しいところである。また来年度の未来会議については、開催することは予定しているが、内容については現状まだ何も決まっていない。内容を詰めていくのが毎年5～6月ぐらいなので、事務局の方で相談しながら、ファシリテーターとして参加予定の青年会議所の方々とも相談しながら進めていきたい。
- 平田委員： 2点目について、この未来会議を実施した後に参加された方からの感想や参加後の意識や行動の変化というのは、何か把握する機会はあるのか。
- 秋元係長： 未来会議のときに必ずアンケートを実施しており、審議会の資料の方ではお出ししていないが、一部抜粋すると、意識を変えて校内に広める、生物多様性についての根本的な意識の変化が必要、生徒活動生徒会活動として学校に本日のことを伝えたい、今の私達にできることをやってみようと思う等様々な御意見をいただいている。
- 平田委員： 今後はぜひそういった参加したときの意見や今後どうしていきたいかというアンケートの一部をぜひ抜粋していただきたい。最後に3点目としてムクドリの件でお伺いしたい。去年は実証実験的に追い払いを実施したということだが、今年は実施するのかお聞きしたい。

秋山係長： ムクドリ対策については、昨年度の12月頃に試行実施ということで、今年度と同じように忌避音を流して追い払いを行おうとしたところタイミングを逸してしまい、空振りに終わってしまった。今年度に入ってやはりムクドリが昭島駅南口を中心に集まっているという声が大変多くあり、そちらに対して何かできないかということで、少し時期を早めて8月に現地に行ったところ今度はムクドリがたくさんいたため、そこで初めて忌避音を流したところ一定程度効果があったことが確認できた。その後11月になる頃、今度は市内の別の地域から、ムクドリが公園近くの方にたくさん集まっているという御相談を多数いただき、昭島駅南口で追い払ったことでそちらに移動したのではないかというお話もあったため、本当に移動したかどうか不明ではあるが、市民が困っていることは事実なので、そちらでも11月に追い払いを同じ形で行った。あまり多くはいなかったが追い払うことはでき、周辺住民の方も見に来た中で、ありがとうございますという感謝の言葉もいただき、一定程度効果もあったということで今年度は終了している。

椎名委員： カーボンニュートラルの実現のところで、クーリングシェルターの指定とあるが、市民に熱中症特別警戒アラートが発令されていることをどうやって伝達し、歩いている人等が暑いなと思ったときに、公共施設がその避難施設だということを認識するための方法をどのように考えられているか。

長谷川係長： 熱中症特別警戒アラートの周知等については、昭島市公式ホームページやX、防災行政無線等を用いて周知啓発を徹底していくことを検討している。

椎名委員： あと2点ほどお聞きしたい。まず土地管理の苦情90件とあるが、これは具体的にどのような問題なのか。

秋山係長： 土地管理については様々な苦情が寄せられるが、そのほとんどは隣家から樹木の枝が伸びてきて葉っぱが落ちて困るとか、枝が建物にぶつかるといった隣人同士で解決できないものを行政が間に入って対応しているような事案が多い。

椎名委員： 心配なのは先ほども話題に出たタバコのポイ捨てや枯れ草などで発生する火事についてだが、そういったケースはあるか。

秋山係長： 現状ないが、枯草が放置されている空地等では不審火が心配という声も寄せられるので、そちらに関しても市の方から収集車で声掛けをしたりしている。

椎名委員： 最後になるが、タバコの吸い殻の問題については、日本たばこ（産業）の協力を得るなどしてもう少し具体的で強力な対策を願いたい。大げさな言い方になるかもしれないが、市民の財産を守ることに繋がる。

坪内委員： 椎名委員の発言とも関連するが、タバコの吸い殻のポイ捨てについて、企業が多く人通りもあるところのコンビニ等では比較的ルールが守られているようだが、人通りの少ない路地等の空地ではやはりポイ捨てが目につくように思う。よって、日常的にそうした人目につかない場所を通る住民に対して啓発ポスター等の取り組みをすることが火事の予防になるのではないかと考える。またもう1点、先ほど未来会議のファシリテーターの問題が出ていたが、環境問題に興味を持って研究をしたいという学生が最近が増えていて、そういったところで大学との連携ができる可能性はあるか。

- 秋山係長： 山本委員・椎名委員共々ご指摘のタバコの吸い殻のポイ捨てる問題について、やはり人目につかないところではタバコの吸い殻を捨ててしまうことは少なからずあるものと認識している。そうした状況に対して捨てないように周知なり啓発をしていく手法として、先ほど述べた喫煙マナーキャンペーンは大事だと考えており、それ以外には、市民に対してポイ捨て禁止の看板などを無料でお渡ししている。また、昨年度は市内の保育園の子供たちにタバコのポイ捨てるをしないでというようなメッセージを絵にさせていただき、そちらを看板として作り無料で配布しているので、こうしたことを多くの市民に知っていただき、子供たちの望みであるから捨てないようにしなければという気持ちを起こさせたいと思っている。
- 井上課長： 大学との連携の可能性について、市民部では多摩大学と水ブランディング等含めて、いろいろ連携を図り動画の作成などを行っているが、私共環境セクションとしても様々なイベントの周知方法や、現在は特に脱酸素をどう若い世代と一緒に取り組んでいくかということは喫煙の課題として感じている。積極的に市民の皆様や事業者の皆様はどう伝えていくかを、若い世代と一緒に考えていくということが、今後昭島市としては必要だと考えているので、未来会議というよりは違うアプローチの仕方を是非一緒に考え、我々世代にはなかなか難しいSNSの活用法などについて一緒に取り組みをさせていただきながら、こうやると若い世代に刺さるよというところを考えるような機会を、我々としても御相談したいと思っている。
- 秋山係長： 先ほど市内の保育園の子供たちにタバコのポイ捨てるをしないでというようなメッセージを絵にさせていただいたと発言したが、正確には喫煙マナーを守ってくださいという趣旨のものであったため訂正する。
- 椎名委員： タバコの吸い殻のポイ捨てるの問題だが、例えば駅周辺を喫煙禁止区域に設定するということはできないか。また年齢層やどの区域のどの時間にポイ捨てるが多いのかといった実態調査が必要ではないか。その上で、例えばイエローチョーク等を用いて周知するようにする等、（ポイ捨てるをする人の）心に響くような施策をお願いしたい。
- 秋山係長： まず喫煙禁止エリアの話だが、昭島市に寄せられる苦情の相談の中でもやはり禁止エリアを設けてほしいという話はいただいている。市の内部でタバコのこうした苦情の件については機会を捉えて協議をしているが、喫煙禁止エリアを仮に作とした場合、他の自治体ではその中に喫煙場所を設けている傾向が多く、喫煙している方にも一定の配慮をするというところ、現状昭島市内で喫煙場所を設置する場所を見つけるのが困難であり、いろいろ方策を研究している状況である。また実態調査については、例えば喫煙禁止エリアを条例で設定する準備を進めるような段階で調査していくことを考えている。現在いろいろなお声をいただく中で年齢層や場所等ある程度分析はできているが、それに本当に具体性を伴った市の政策を打ち出すときに今初めて、調査を行っていったらと思っている。イエローチョークについては、犬の糞が落ちているところに丸い印をつけて日付や時間を書いていただき、多くの人がこれを見て気にしているということを気づかせるようにしているもので、タバコの場合も有効な手段だとは考えるが、実行には至っていない状況なので、

御意見として頂戴する。

椎名委員： 私はやはり日本たばこ（産業）に協力を求めるべきだと思う。全面的にではなくとも原因の一端は担っているし、実態調査も本来はそこがすべきではないかと考えるので、意見として付け加えたい。

宮地委員： 先ほど話があった子供からのメッセージはやはり訴求力が強いと思う。看板もいいがティッシュ配り等の際にそうしたメッセージが入っていると響くところがあるのでないかと考えるので、意見として述べておきたい。

秋山係長： 現状の取り組みとしては、啓発物品として配布しているウェットティッシュ等に受動喫煙で困っている方がいます、マナーを守って吸ってくださいといったようなメッセージを書いた紙を一緒につけて配っている。この喫煙マナーキャンペーンを行っている昭島まちなみクリーンアクション実行委員会の会議の場で、現在新しいメッセージを考えており、それをウェットティッシュ等の方に入れていきたいと考えている。その会議の場では喫煙者の方も喫煙してない方も参加し、いろいろな意見が出ているので、事務局の方で最も吸っている方の心に響くメッセージを考えて、新たなものを作ってお配りできるよう検討しているところである。

4 その他

秋元係長： 今回が今年度最後の審議会となる。審議会委員の皆様には昭島市の環境施策について御審議いただき御礼申し上げます。現在の審議会委員を務めていただいている皆様は、任期が今年の6月30日までとなっているので、また改めて審議会委員の皆様の任用についてご相談させていただきたく、よろしくお願いしたい。なお本日の委員報酬は4月中に登録いただいた口座へ振り込む予定である。最後に会議録（要旨）は、この後事務局で作成し、メールで原稿を送信するので、修正箇所があれば事務局までご連絡いただきたい。

井上課長： 環境課の職員に令和7年4月1日付で人事異動があったので御報告する。計画推進係長と環境保全係長が異動となり、また先ほどネズミやムクドリの話が出てきたように、市内でも鳥獣対策の必要性が高まっていることを受け、新たに鳥獣対策係が新設されるので、そこも含めて御挨拶したい。

秋元係長： こちらの審議会には1年半程度の短期間ではあったが本当にいろいろと勉強させていただき感謝申し上げます。4月からは新設の鳥獣対策係長としてまた環境課の方で皆様にお世話になるのでよろしくお願いする。

秋山係長： 私は令和4年度からこちらの環境課に異動し、丸3年間いろいろな業務に携わらせていただいた。非常に勉強になり、有意義な時間を過ごせたと思う。また環境審議会委員の皆様方には非常に参考になるご意見ご質問をいただき感謝申し上げます。

井上課長： なお4月からは計画推進係長に長谷川暢俊、環境保全係長に小沢岩夫が就任する。正式にはまた改めて次回の審議会でお挨拶するが、6月30日までの間に何かの問い合わせ等あればお問い合わせいただきたい。事務局からは以上である。

5 閉会